



射水市立東明小学校 学校だより 迎春

東明っ子

第19号

令和5年1月11日

3学期スタートです！

新しい年、2023年が始まりました。3、4日と年始寒波の襲来が危惧されましたが、思いのほか雪が降らず、穏やかな年明けとなりました。行動制限のない年末年始を家族でいかが過ごされましたでしょうか。素敵な思い出がたくさんできたことと思います。



新年を迎えると、「今年は〇〇をがんばろう」「今年こそ〇〇をやり抜こう」などと、気持ちが新たになります。子供たちが夢や希望、目標に向かって頑張っていこうとする前向きな気持ちを支え、達成感や充実感を味わうことができるような一年にしていきたいと思います。

3学期は「校内書初大会」から始まり、「5・6年スキー学習」「学習参観」「なわとび大会」「卒業を祝う会」そして「卒業証書授与式」と大きな行事が目白押しです。行事に取り組むことでもまた、子供たちが成長できるよう支えていきたいと思います。



まだまだコロナは収束することがなく、試練の年となりそうですが、子供たちと共に前を向き力強く歩んでいきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

真剣です！校内書初大会



始業式の後、校内書初大会を行いました。今年の題材は1年生「へいわ」、2年生「あく手」、3年生「明るい心」、4年生「春の立山」、5年生「雪の大地」、6年生「強い信念」です。

体育館では寒さに負けず、緊張感のある厳かな雰囲気の中で、一文字一文字心を込めて揮毫しました。たった2枚の清書用紙にこれまでの練習の成果を発揮しようと集中している子供たちの姿に感動しました。

金賞を受賞した子供たちの中から、県大会への出場者が決まります。感染状況により変更することも考えられますが、今年は3年ぶりに参集して県大会を行う予定です。

日本のお正月！新年の行事や風習！

日本には、新年を迎えるための伝統行事があります。元旦は「年神様」という幸福をもたらす神様が各家庭に降臨すると言われていす。そして、正月に年神様をお迎えするために様々な正月行事や風習が生まれました。



門松（かどまつ）は、年神様が迷わずに家を見つけるための目印として家の玄関前に飾る物です。本校でも玄関先にミニ門松を飾りました。これは氷見の湖南小学校の子供たちが作ったものを譲っていただいたものです。

鏡餅（かがみもち）は、正月に年神様へお供えするものです。鏡餅の丸い形は、昔の鏡の形に似ているために鏡餅と名付けられ、家庭円満の意味合いがあります。学校にも一年間、何事も起こらないように願って正面に飾りました。

初詣（はつもうで）は、年明けすぐに寺社に参拝して、新しい一年を迎える感謝と新年の無事、平安を祈る行事です。初詣の風習は江戸時代に始まったとされ、昔の日本人も地元の神社へ参拝していました。今年は天候に恵まれ、たくさんの参拝客がお参りしていました。

おせち料理は、家族の繁栄を願い、お正月に食べる特別な縁起物の料理です。おせち料理の食材は地域によって異なります。代表的なものは、黒豆、きんぴらごぼう、数の子、昆布巻き、伊達巻き、田作り、栗きんとん、紅白かまぼこ、ブリの照り焼き、紅白なます、菊花かぶ、錦玉子などが挙げられます

お年玉は、お正月に金銭をぽち袋に入れて渡すご祝儀のことです。新年のお祝いにお年玉は親から子供、年長者から年少者、師匠から弟子へ、目上から目下へ渡す風習です。

日本では正月に一年の始まりを年神様とともに過ごして、一年の無事と平和を祈ります。日頃は仕事や学校で忙しく過ごしていても、正月には感謝の気持ちを家族で伝え合うことができます。きっと充実したよいお正月を過ごされたこと

と思います。子供たちの笑顔から感じることもできました。



「子供たちの学びを止めない」ことを念頭におき、感染予防を講じながら、今年度も教育活動を推進していこうと思っています。そのためには保護者の皆様のお力添えが必要です。子供たちのためによりしくお願いいたします。



(校長 阿尾昌樹)